

《対策のポイント》

- ・アオノリ養殖の普及と青混ぜ海苔の戦略的販売を進めるとともに、ノリ養殖での食害対策を行うことで収益向上を図ります。
- ・アサリ稚貝の保護やカキ養殖、ナマコの増産など漁業者の取組を支援します。
- ・東京湾の漁場環境の改善について、国との連携・協調を図りながら進めていきます。

《目標》 東京湾漁業の収益向上

〈対策の内容〉

1 ノリ養殖業

(生産者の収益向上)

- アオノリ養殖技術の確立・青混ぜ海苔の普及、戦略的な販売促進
- 高色調品種の開発・普及や、ばら干し海苔の生産拡大を支援
(海水温上昇、クロダイ等食害対応)
- 食害を防除する省力型ネットの導入支援
- 食害の影響を受けにくい品種(二次芽が出やすい品種)の開発

2 貝類漁業

- 漁業者が取り組むアサリ稚貝の秋冬季減耗や食害対策の支援
- カキやナマコなど新たな貝類等の増産を推進

3 漁船漁業

- 東京湾漁業・環境情報提供システムによる貧酸素水塊情報の提供
- 東京湾調査・指導船「ふさなみ」による操業安全指導

4 漁場環境の改善

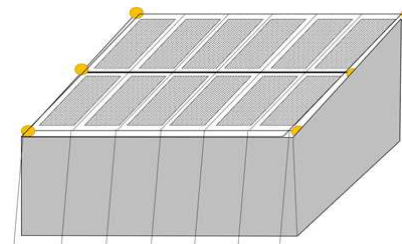
- 東京湾漁場環境改善に向けた一都二県の漁業者の取組支援
- 有明海、瀬戸内海での栄養塩対策など先進事例の研究、国との連携・協調による取組の推進

〈対策のイメージ〉

ノリ養殖業



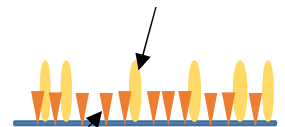
養殖中のアオノリ



省力型ネット

- ・ノリ網周囲をネットで囲う
- ・ノリ網直下で囲う従来型より
日常の管理が容易

順調に伸びる二次芽

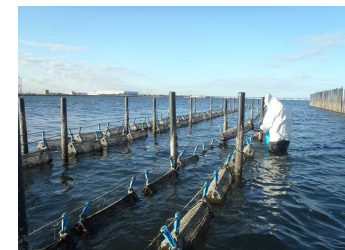


食害を受けて伸び悩む親芽

貝類漁業



アサリ保護用囲い網の設置



干潟でのカキ養殖試験



岩場でのナマコ